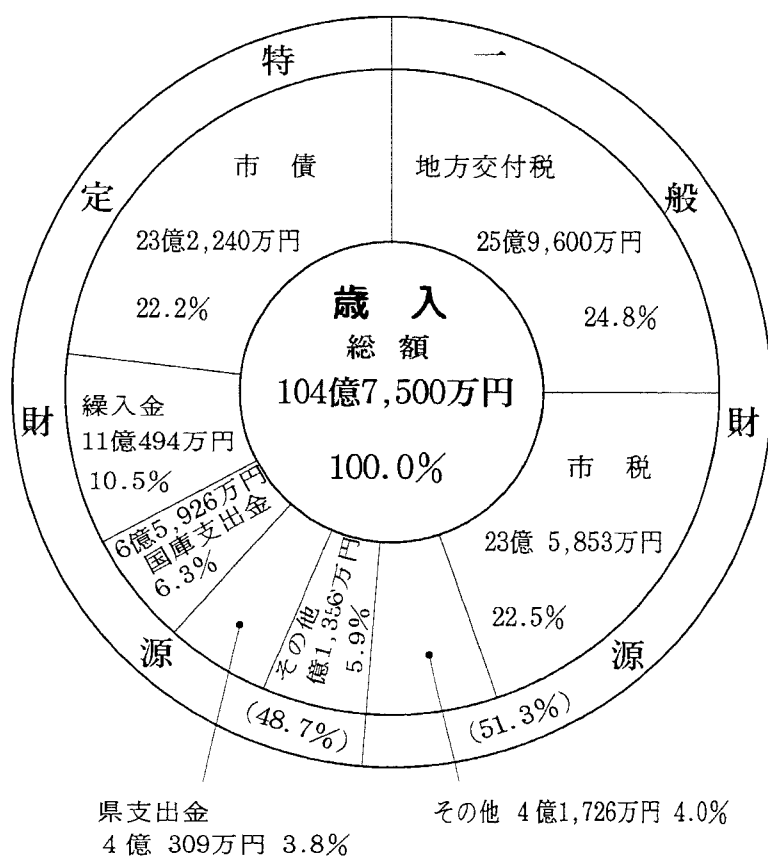


して104億円

三月定例市議会において、平成元年度の一般会計予算案が審議され、病院建設事業をはじめとする、総額一〇四億七、五〇〇万円の予算が決定されました。「住みよいまちをめざして」市民生活に密着した諸事業を推進し、地域振興のため積極的に取り組んでいきます。

国においては、新しい税制度がスタートしましたが、市における今年度の予算はどのように構成されているか表してみます。



今年度の主要事業

を五つ選んで

みました!

病院・老人保健施設の建設

病院並びに老人保健施設の建設は、昨年十二月着工し、来年四月の開院をめざして現在着々と工事が進められています。事業費として、三〇億一、〇〇〇万円が計上されました。(総事業費四三億円)

「ふるさと創生」事業の推進

地域の特色を活かし、創意工夫を凝らした「自ら考え自ら行う地域づくり事業」として、総称を「SANTY・キャンパスタウン都留」と定め、学園都市を柱に、五項目の独創的な事業を計画し、八、〇〇〇万円の予算が計上されました。

総合会館(仮称)建設計画

市民会館敷地とその周辺に、来年度に完成する計画の県立婦人会館と併せて、歴史・文化的活動の拡大、さらに産業面をも含めた複合施設として建設する計画で、事業費として三億六〇万円の予算が計上されました。

中央自動車道側道整備

市街地における道路網の交通緩和と中央自動車道側道の高度利用を図るため来年度を目途に谷村橋整備事業(上部工)を完了する予定であり、本年度事業費として一億四八〇万円の予算が計上されました。

英語指導助手招致

昨年八月から活躍している外国人英語指導助手に加え、本年は姉妹都市のヘンダーソンビル市から、さらにもう一名の英語指導助手を迎え、英語教育の充実と、豊かな国際性を培うため、七〇〇万円の予算が計上されました。